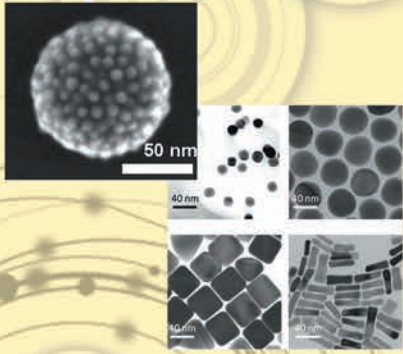


2018年1月6日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

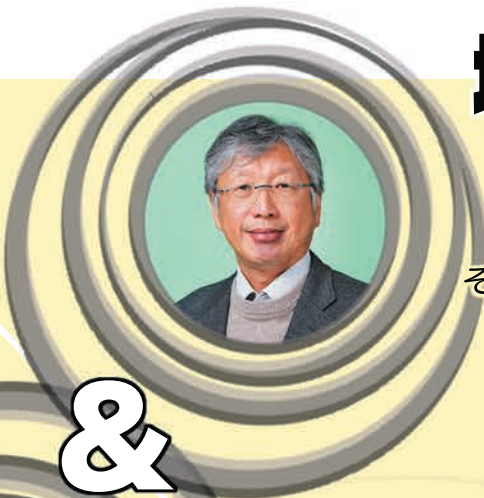
テーマ：形は機能？植物プランクトンと無生物の形



植物プランクトンの多様な形態

北海道大学大学院理学研究院

堀口 健雄



&



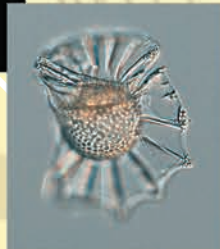
植物プランクトンは海や池に生息する微細な「植物」です。その大部分が単細胞生物ですが、しかしながら必ずしも単細胞＝単純という訳ではありません。珪藻類、渦鞭毛藻類、円石藻類などのグループは単細胞性でありながら驚くべき多様な形態を進化させてきました。中には、「レンズ式の眼」や他のプランクトンを捕獲するための「飛び道具」を進化させたプランクトンまで存在します。植物プランクトン達が「単細胞という制約」の下でいかに複雑な形態を進化させてきたのかについて紹介します。

金属の真の魅力をご存じでしょうか？近年のナノテクノロジーの発展によってさまざまな微小な金属構造体を作製できるようになり、金属の新たな機能（魅力）が明らかになってきました。例えば、金は一般的に金色ですが、数十ナノメートルという大きさの極小の粒子になると赤く見えるようになります。さらに形が変わると青くもなります。色は金色のほうが魅力的かもしれませんが、赤色や青色の金粒子は光を集めるアンテナやバイオセンサーへと応用される高い機能性を有しています。本講演では、このような金ナノ粒子の光機能と形の影響を中心に、金属の「芯の魅力」について紹介します。

金属ナノ粒子がつくる多様な形

北海道大学電子科学研究所

三友 秀之



主催：北海道大学総合博物館
共催：科学研究費新学術領域「生物規範工学」
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
共催/協賛：高分子学会北海道支部
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分